



「リハモード」で超高齢社会を突破

わが国で少子高齢化が叫ばれて久しく、国立社会保障・人口問題研究所の発表によれば、2040(平成52)年には65歳以上の人口が40%以上を占める自治体が半数近くにのぼるとのことであり、高齢者世帯の増加率は2010(平成22)年から2035(平成47)年までに24.8%と予測されています。少子化対策としては保育所の待機児童対策や学童保育など、子育て支援制度により出生率の向上対策が検討されています。

しかしながら、高齢者の増加を抑制する手立てはなく、介護保険制度を持続可能な制度とするために、当初の制度設計段階からリハビリテーション前置主義が掲げられていました。以後も制度改正のつど、給付抑制策が盛り込まれ、高齢者介護の品質向上と効率化、合理化が継続的に模索されている状況です。2000(平成12)年の介護保険制度開始前後から民間の介護保険事業者が多数参入し、「生活の質(QOL)の向上」「施設から住まいへ」という機運が急速に高まりました。また、医療制度改革ともなう入院期間短縮と、できるだけ自宅で暮らしたいという高齢者のニーズを背景に、安心して在宅療養を継続できる場所が求められています。

当社は1881(明治14)年の創業以来、一貫して病院・施設向けのリハビリテーション関連機器の製造・販売を生業として歩んできましたが、前述のような社会的ニーズの変化に適応するため、在宅療養、維持期(=生活期)リハビリテーションなど、高齢者が住まいで自立生活を送ることを支援するビジネスへのチャレンジを開始しました。

2012(平成24)年、当社の製造拠点である千葉県白井市で、長年にわたりお世話になった地域の皆さまに、厚生労働省が推進する地域密着型サービス、地域包括ケア、認知症ケアを实践する介護サービス事業に着手しました。当社の在宅関連事業で提供する商品・サービスの統一コンセプトとして「リハモード」を提唱していることから、施設名称を『リハモードヴィラ白井』と

しました。複合型介護保険事業所リハモードヴィラ白井の事業内容は、①地域密着型特定施設「リハモードホーム」②小規模多機能型居宅介護「リハモードケア」③認知症対応型通所介護「リハモードテラス」④サービス付き高齢者住宅「リハモードヴィラ」⑤⑥訪問看護ステーション・訪問介護ステーション「リハモードデリ」⑦居宅介護支援事業所「リハモードナビ」⑧通所介護「楽リハデイサービスセンター白井」、また、関連施設として事業所内保育所「キッズアテンダント」、隣接地には調剤薬局「レモン薬局白井店」を併設しています。リハモードヴィラ白井は多機能で高効率、合理的なサービスの提供、ご利用者・ご家族の尊厳を守るきめ細かいサービス提供の実現に邁進しています。

2013(平成25)年からはB to C事業に本格的に取り組むため在宅事業部を立ち上げ、在宅自立生活を支援するために、在宅療養や在宅リハビリテーションに必要な機器の企画開発にも取り組んでいます。また、在宅で生活する高齢者やそのご家族、介護スタッフへ介護機器や在宅向けリハビリテーション機器をお手元にお届けする手段として、インターネット通信販売サイト「リハビリ通販.Com」を開設しています。

酒井医療株式会社は、高齢者住宅経営連絡協議会の会員企業として、関連するトータルなソリューションを提供し、急激な後期高齢者の増加に積極的に対応してまいります。

大内 敏弘

おうち・としひろ

●PROFILE

酒井医療株式会社取締役管理部長兼
介護福祉事業部長。平成26年4月から、
「リハモードヴィラ白井」の運営・管理
責任者を務める。

